

# 広げよう！優良実践の輪！

～平成29年度 優良実践校の取組～

取組 9

## 教職員協働による学力向上の取組

倉敷市立天城小学校

### 1 はじめに

本校は、児童数約630、倉敷市の東部に位置する学校です。平成27年度より教職員がアイデアを出し合い、学力向上に取り組んでまいりました。

### 2 取組の概要

#### (1) 児童が変わる

「天城スタンダード」を作成し、生活規律と学習規律を同じ基準で指導し、徹底を図りました。各家庭にも配付し、保護者に協力を依頼しました。また、書く力を重点的に指導し、ノート記述の仕方を校内で統一して、定期的にノート検定を行いました。

#### (2) 教師が変わる

中国地区小学校理科教育研究



自主研修の様子

大会の会場校となり、「自然事象のおもしろさを引き出す楽しい理科授業の創造」をテーマに、より質の高い授業を目指しました。経験年数の少ない教師が多くなり、授業に自信をもてない教師が増えてきています。特に理科の授業を苦手にしている割合は高くなっています。



授業の様子

そこで、授業に四つの視点を取り入れることで、誰もが自信をもって授業実践できるようにしました。授業改善は理科だけに留めず、めあてのもたせ方、学習活動の工夫、個別やグループへの支援、全体での話し合い、振り返りの工夫等の指導を全ての教科等にも適用し、どのクラスも同じような流れの授業にしました。

#### (3) 学区が変わる

中学校区で幼小中の連携を図り同一步調で教育を進めました。中学校区連携教育推進計画を作成し、授業や保育を見合ったり、5校園が同一期間に「家庭学習チャレンジ週間」を設定したりしました。

### 3 おわりに

以上のような取組によって、どのクラスでも、授業の流れが同じようになり、児童は学習の仕方が分かり、見通しをもって学習できるようになりました。

家庭学習の習慣も身に付いてきており、自主勉強も伸びてきています。

教師は、授業の仕方が分かり、毎時間安心して授業に臨めるようになりました。また、教職員が共通理解し、協働による取組を続けることで、士気が高まり、学び続ける教職員集団となっています。

(前年度校長 吉岡 勉)

教職員の協働による細かな分析を基にした  
学力向上等の取組

美作市立美作北小学校

1 はじめに

本校は、県東北部に位置しています。児童数は現在323名、学級数17（通常学級12、特別支援学級4、通級指導教室1）です。児童は、明るく素直ですが、特別な支援を要する児童も多く、また家庭への支援を要する児童も多いのが実態です。

2 取組

(1) 重点目標

児童の実態を考慮して、次のような重点目標を決めました。

- ① 自己有用感を高める。
- ② 自治的能力をつける。

この二つの重点目標を、常に意識して、すべての教育活動のなかで達成していくことにしました。

(2) 特別支援教育・児童理解

困難さをかかえた児童に対する理解を基盤にした校内研修を核に、ユニバーサルデザインの



グループ活動を取り入れた授業

視点を取り入れた授業づくり・ソーシャルスキルの指導・保護者との教育相談・保護者啓発・専門機関との連携を行いました。今、目の前にいる児童一人一人と、真剣に向き合おうとする教師集団でありたいと考えています。

(3) 学級づくり・学力分析

学級づくりについては、年度当初の校内研修を核に学級集団の原理・原則を共通理解し、学

級経営の年間計画を作成して、学期ごとに振り返りを行いながら、ベテランと若手の交流を大事にして取り組んでいます。

また、学力分析については、学力調査の結果をもとに、C層・D層を向上させるように意識して教育活動を取り組みました。

(4) 校内研修・学力向上

研究主題は、「主体的・対話的に学ぶ授業づくり」です。低・中・高・特別支援部会に分かれて全体公開授業を行うとともに、全員が部内公開授業に取り組みます。

学力向上のためには、授業をABCユニットに分けて学習、朝や放課後の補充学習、自主学



職員研修の様子

習、家庭学習の促進などを行っています。

(5) 体力づくり

児童の自己有用感を高めるために、体力づくりの取組は結果が目に見えて表れやすいので、効果的だと考えて取り組んでいます。

体育の授業の前5分間を使って、サーキットトレーニングをどの学年も行っています。また、業間体育で2学期は様々な種目のトレーニングをチャレンジ表に書き込みながら行い、3学期はマラソン運動を取り入れています。春秋の陸上の練習を大事にして、取り組むこともしています。

3 成果と課題

学校の実態に合わせて、課題解決に向けて職員と相談しながら、効果的な方法を探りながら実践を行いました。

結果として、自己有用感が高まり、自治的能力もついてきたと感じています。今後も、さらに効果的な方法を模索しながら実践を積み、効果を上げていきたいと考えています。

(前年度校長 福田 健司)